

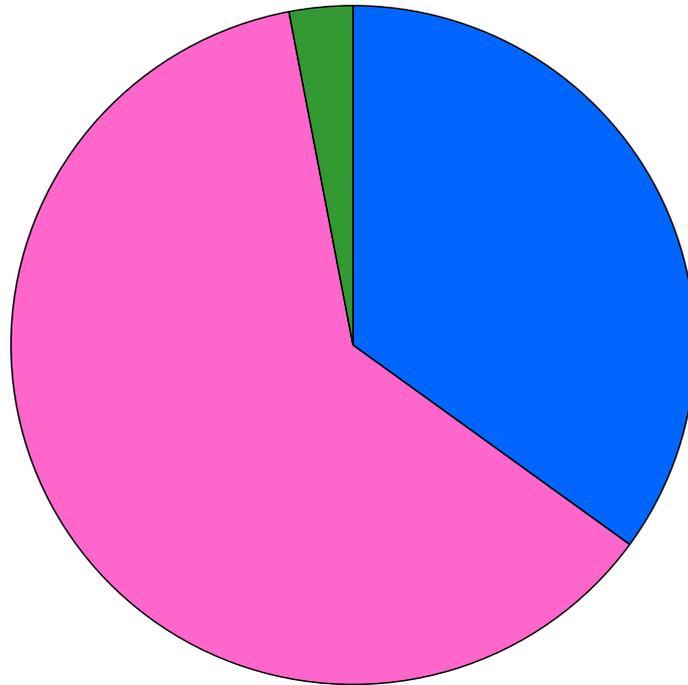
プログラム名 【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「組織編」

単元名 RA

アンケートタイトル 【オンライン】環境変化に適応できるレジリエンス・マッスルの鍛え方「組織編」

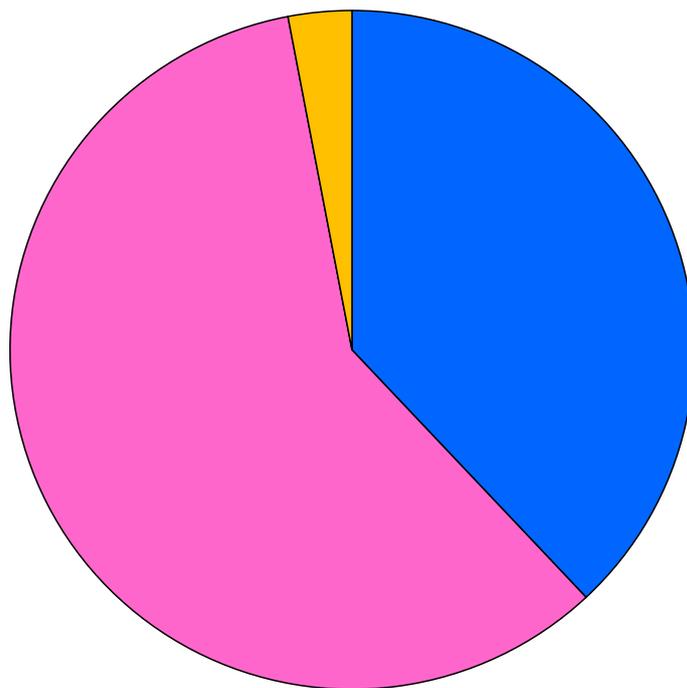
質問1 今回、事前にPDF資料のご準備をお願いいたしましたが、どのようにご準備されましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	プリントアウトした	12	35%
2	プリントアウトせず、PDFを画面表示して利用した	21	62%
3	準備できなかった	0	0%
4	その他	1	3%
合計		34	



質問2 プログラム全体の内容は、いかがでしたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	とても良い	13	38%
2	良い	20	59%
3	どちらでもない	1	3%
4	あまり良くない	0	0%
5	良くない	0	0%
合計		34	



質問3 質問2の回答理由を教えてください。（自由記述）

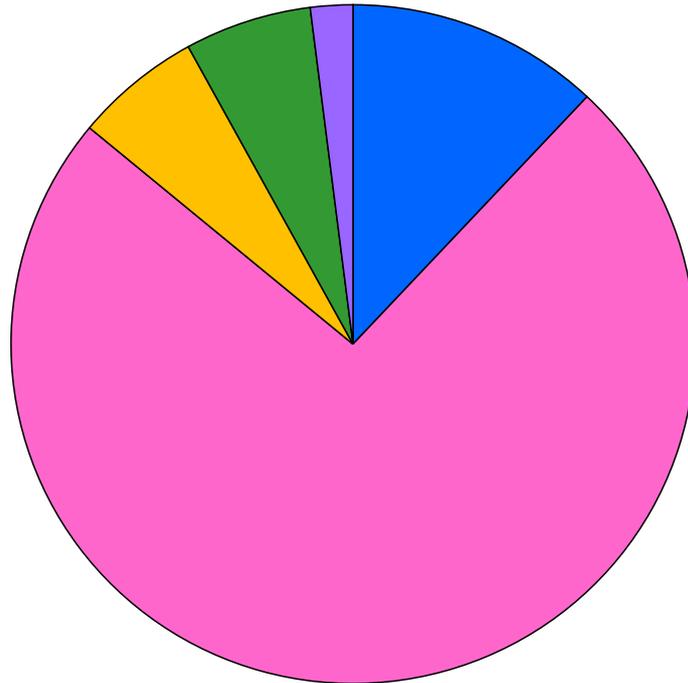
【自由記述】

- ・個人、チーム、組織と段階をおって受講できましたので、理解が深まりました。
- ・一人ひとりが変われば組織も会社も社会も変わらないことを痛感した。
- ・オンラインでも聞いているだけでは無く用紙を使用して参加できるのは良かったです
- ・3回参加しましたが、毎回気づくことが増え、楽しく参加できました。
- ・組織の強み・弱みについて確認することができた。
- ・変化を意識することが大事なのだとわかりました。
- ・3回参加させていただく中で理解を深めることができました。なかなか鎌田先生の様に行動を起こしていくことは難しいと思いますが、一人ではできないことでも周りを巻き込んでいくことで力になると勉強になりました。
- ・過去2回と比べても、講師の進行ぶりがとてもスムーズで、一番聞きやすかったです！
- ・個人、チームそして3回目は組織がテーマ。初参加でしたが、過去も振り返りつつ組織としての対応力を、カモメになったペンギンという書籍で分かりやすく紹介していただきとても、有意義な講座でした。
- ・この世は自分の思いどおりにならないことばかり、各々の悩みは尽きませんが、鎌田教官の姿を画面で見ただけで元気（パワー）が伝わります。これからもKK2でお会いできることを楽しみにしています。
- ・今回は組織のお話だったので、少し難しいと感じました。
- ・短い時間で理解出来た。
- ・短い時間でしたが、要点だけを簡潔に講義いただき、長く感じなかった。
- ・組織を見つめなおす機会になるのは良かった、ただし組織は自分の思い通りになる訳ではなく要員は自分で決めれる訳ではない為、実現には乗り越える壁も多く感じる。
- ・内容がとても充実していた。
- ・組織のレジリエンスについて、何が必要か、改めて考えることが出来た。
- ・新しいものの見方の気づきがあったから
- ・様々な成功事例を紹介頂き、自分自身の考えと共鳴する同志と共に行動していかないといけないと強く感じました。
- ・内容時間共にちょうどよいと感じました
- ・組織を良くする方法はわかった。
- ・具体例をもう少し詳しく聞きたかった。

- ・変化への対応について改めて考えさせられる内容でした。
- ・今年度の集大成となっていて、前回・前々回の内容も踏まえたものになっていて、今まで参加して良かったと思いました。 時間を見つけてまた見直そうと思います。
- ・在宅勤務の中、周りの監視がないことによる気の緩みも少なからずあると思っています。このような内容のセミナーを定期的に通講することで仕事への集中に一層役立てられると思います。
- ・変わることの大切さ カモメになったペンギン の話と
鎌田講師の事例をおりませでわかりやすかった
最も強いものが生き延びるのではなく 最も賢いものが生き延びるのではなく
唯一生き延びることができるのは 変化できるもの というところが刺さった
太古も恐竜は強くても絶滅した。 会社で言えば 富士フィルム 日本たばこ
などの会社は、主の事業から転換しながら
変化に対応してきたからこそ今も存在しているということがよくわかった。
ホメオメタシス 前例・慣例という壁を乗り越えるのは大変なことだが、
あとはどう行動するかということか
- ・組織の課題とは何か考えさせられた
- ・個人、チーム、組織と段階を追ってレジリエンスを学ぶことが出来たから。
- ・組織の変革の方法について、段階的に行う方法について理解できた。事例についてもわかりやすかったです。
- ・具体的な内容で説明頂いたため、分かりやすいと感じました。

質問4 本プログラムを振り返り、あなたは「再構成力としてのレジリエンス＝変化した後の力」について、理解することができましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	できた	4	12%
2	ある程度できた	25	74%
3	どちらでもない	2	6%
4	あまりできなかった	2	6%
5	できなかった	1	3%
合計		34	



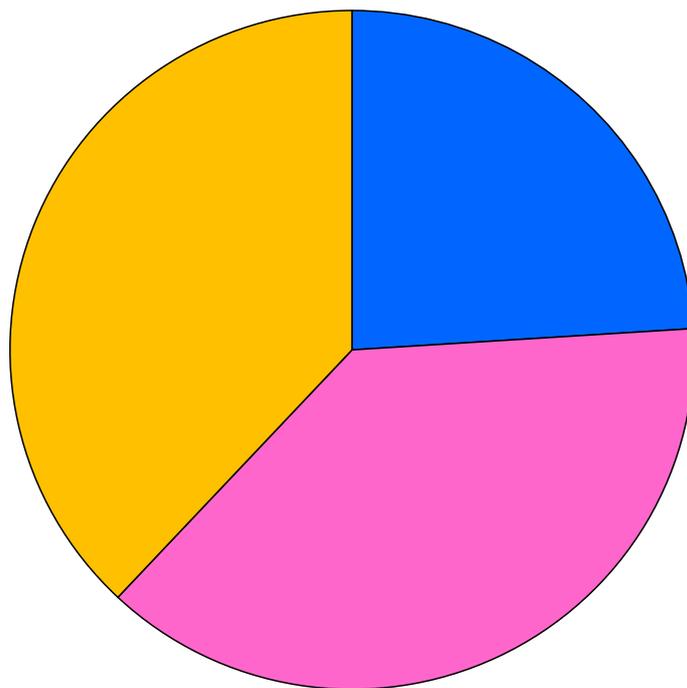
【自由記述】

- ・自分の中での正解を見つけていきたいと思います。
- ・3回を通じ変化への対応について学べた。後は実行するのみ。
- ・変化する企業が生き残る、確かにそうだと思います、これしか出来ないでは、「これ」が必要ないとなると終わってしまう、変化とはどういう行動なのかが分かりました
- ・今後、所属する組織や自分自身も変化し続けていくと思いますが、それに耐えて楽しんでいければよいと考えました。
- ・組織改革を起こし続けることが肝要。その仕組み作りができるかがカギとなる。
- ・おっしゃる意味は理解できます。またそうあらねばならないとも思います。でも気持ちの奥では変化したくないという気持ちもかすかにあります。
- ・気づいたところで立ち止まらず足を止めないで動き続けていくからこそ発展、進化できるのだと分かりました。
- ・変化するためのきっかけや、行動力、その後も続けること…それぞれが実を結んで結果を出すことが理解できました。
- ・組織としてのレジリエンスをいろんな比喻、寓話等で分かりやすく紹介いただき腑に落ちました。
- ・理解できたか？という問いにできたと答えたが、レジリエンスを身に着けたか？と問われたらそう答える自信がない。これからも努力します。
- ・雰囲気は理解できるのですが、話の展開が早くて自分の中で解釈できない部分があった。
- ・組織改革がある程度理解出来た。
- ・組織のレジリエンスは、改革した後も、常に新しい変化に対して対応を続け、企業活動を継続していかなくてはならない宿命を持っている。
- ・実例も含めて対処法がよく説明されていた。
- ・鎌田教官の自身の経験に基づいた具体的な説明による。
- ・いろいろな事例を説明してもらったのである程度理解できた。
- ・下から上、更に上から下へ循環を続けていく必要があることが理解できた。
- ・カモメになったペンギンや渋川消防などを題材にわかりやすい講義内容であった。
- ・変化のあととすることがわかりませんでした。
- ・表面的には理解できたようですが、まだ本質的なところまでは理解できていないと自覚しています。

- ・何事もアクションを起こすのが大事なのだと思います。
- ・AVCC,MLの求める人材像にあらゆる変化にしなやかに対応し、、、。というのがありますが正に今日のセミナーの内容がそこにつながるため興味深く拝聴いたしました。
- ・変化を続けて強くなっていく 野球選手のイチローなんかも毎日欠かさず行うルーティーンを行いながら 毎年キャンプの時にはいまに自分の体、年齢にあった打撃フォームを常に研究し変化しながら長い期間現役として活躍できた 変化というより進化
- ・「再構成力としてのレジリエンス」といったお話はありましたでしょうか。すみません、理解不足です。
- ・何をもって再構成力としてのレジリエンスなのか理解できなかったから。
- ・変化した後に理解と賛同を得ながら変革をさらに加速させるということ、また上から下、下から上の循環気流が必要という部分で共感しました。
- ・自分の知識不足を感じました。 更に学習する必要があると思っています。

質問6 交流会はいかがでしたか。(択一式)

No	解答	人数	%
1	とても良い	8	24%
2	良い	13	38%
3	どちらでもない	13	38%
4	あまり良くない	0	0%
5	良くない	0	0%
合計		34	



【自由記述】

- ・参加できませんでした。
- ・オンラインでの交流会でも、参加者や講師との交流は十分はかれるが、コロナが落ち着いたら、参加者や講師と乾杯できるような交流会もしてみたい。
- ・グループワークの回数を増やしてもよいかと思いました。
- ・普段みられない顔阿賀見られたこと、言葉をかわせたこと
- ・職場以外の方とコミュニケーションをとる良い機会でした。
- ・5人のブレイクアウトルームでしたが、それぞれ一言ずつは話せましたし、その中で会話のやりとりもあり良かったです。ほかの人の考えが聞けることはとても良い機会です。
- ・対話する相手と相当の距離感があるにも関わらず、一体感リアル感を感じられた。
- ・コロナで世の中は変わりました。日本国民全員がITを活用でき、バーチャルなコミュニケーションを取れる時代が望まれます。
- ・初見の遠く離れた方とお話しできたことが、オンラインならではの事だと思いました。
- ・不参加
- ・交流会は、個人の感想だけを発表するだけで終わってしまったので、次回は何か答えに行き着くような討議がしたいと思った。
- ・出れてないです、故に出れてないという選択肢が欲しいです
- ・ブレイクアウトの運営などスムーズさが増した。
- ・時間が短く感じた。
- ・翌日の仕事が早く出席できませんでした。
- ・疲労がたまって参加できませんでした。すみません
- ・ワークルームの時間配分も良く、メンバーとの良い意見交換ができて良かったと思います。
- ・普段見えない人との交流ができた。ただ、画面offや話さない人も多く課題もあると感じています。
- ・柔軟体操がよかった。
- ・前は時間が足りなかったのですが、今回は足りたようです。
- ・自宅のルーターの不調により参加できませんでした。すみません。
- ・今回は都合により不参加でした。

・交流会といっても あの型式だと まわりでみんな聞いてはいるが「参加者一人」と「鎌田講師」という形になり「参加者同士の交流」というところまでは難しい。だから小部屋に分かれたのは良いと思う

・業務があり、参加できませんでした。

・短時間ではあったがグループ分けすることによって参加者と生の声を交わすことが出来たから。

・短い時間でしたが、他の職場の方たちと、最近の業務状況について話ができて良かった。

・申し訳ありません。参加しませんでした。

質問8 本プログラムを通して、気付いたこと、これからご自身で実践したいと思ったことはありますか。
小さなことでも構いませんので、教えてください。（自由記述）

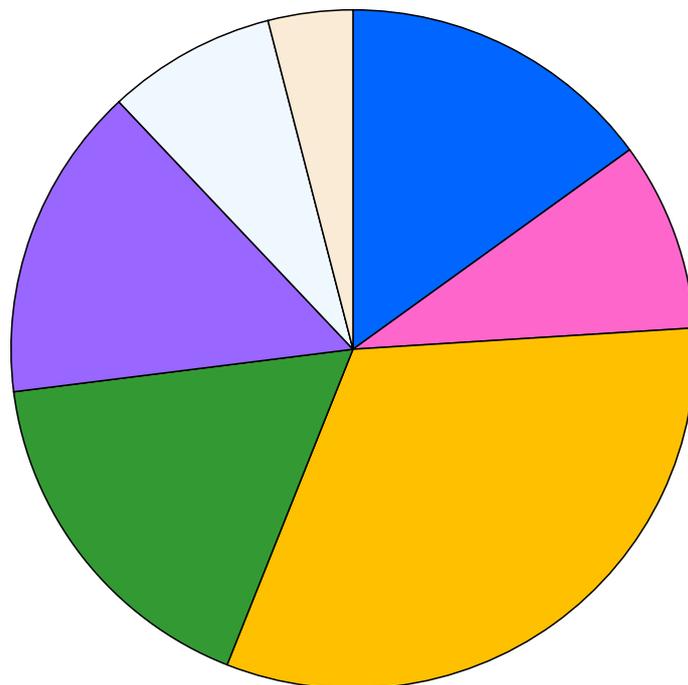
【自由記述】

- ・変化が大きく仕事のやり方も変わってきました。何が正解なのかわからず、みんなで前へ進んでいる状態です。鎌田さんのお話はとても良いヒントになり力をもらえます。今後も宜しくお願いします。
- ・コミュニケーションを広げてチーム(相談できる)を広げていきたい
- ・これからは、体の体力だけでなく、心の体力をさらにつけていきたいと思った。
- ・まわりを巻き込み問題意識を共有すること。
- ・まずは個人としてのレジリエンス能力を高め、職場の中に貢献できる人になるマインドセットを持っていきたいと思いました。孤立しがちな気持ちも、組織全体の一部であることを忘れない様にしたいと思いました。
- ・まずは個としてのレジリエンスを高めることで、ゆくゆくはチームや組織、日本？のレジリエンスを高めることにつながると思うので、自分の芯をしっかり持って、タンポポのように、竹のように、行動できる自分になりたいです。
- ・今回に限らず、直面する問題に丁寧に対応する力がより一層必要であると痛感、決してホメオスタシスになることなく、「現状を変えられる」をモットーにしていきたい。
- ・この三回の講義をアーカイブする意義があると思います。
- ・個人が組織を変えるというのは、なかなか難しいことだと思います。新しい文化を取り入れるには、社内の風土がとても大事だと思いました。
- ・特になし。
- ・組織が直面する環境の変化への「気づき」を、常に敏感に感じ取れるように、日ごろからセルフイメージを高めていこうと思う。そして、自ずから初めの一步を踏み出せるよう心がけて、準備を怠らないように仕事に向かいたい。
- ・カマガ先生の講演にはプログラム時間が足らなく感じる。
- ・ブレイクアウトは10分ですが、有意義な出会いの場なので、司会（ファシリテーター）がスムーズに決まるような仕掛けがあるといいかも。
- ・自身の組織に対する考え方。
- ・色々な取り組み事例はとても参考になるが、実行できた組織はどれくらいあるのだろうかと思っていたが、変化は常に目の前にあるから日々実行中なのかなと自問自答していた。
- ・思ったことを試しに一步ずつ進めながら同志を見つけて改革できればと思いました。
- ・1、あなたは、今日何をしなければならないのか。何をしたいのか。
2、ホメオスタシス

- ・地球温暖化を阻止してペンギンはペンギンのままでいてもらう。
- ・気づきがあれば協力者を見つけて、少しずつでも行動したい。
- ・改めて「カモメになったペンギン」を見直してみます。
- ・どんな小さなことでも職場で情報共有していこうと思いました。
- ・本プログラムで学んだことを再度動画をレビューして自己のアップデートにつなげたいと思います。
- ・日ごろの業務の中でも 失敗を恐れ、これまでと同じやり方手順を続けるということが多々あるが、そういうところ一つ一つから見直していかなければいけないと感じた。まずは、その視点をもつことが大事
- ・「次の日に何をするか決めて出勤」これは、是非実践しなければならないと思った。
- ・今回紹介された渋川消防というのは自分の出身地であり、このように全国的に紹介されていることは知らなかったので誇らしく思えました。
- ・自分だけが動くのではなく、組織全体を変革の方向に動かしていくことが重要だと思いました。
- ・カモメになったペンギンを、読んでみたいと思ってます。

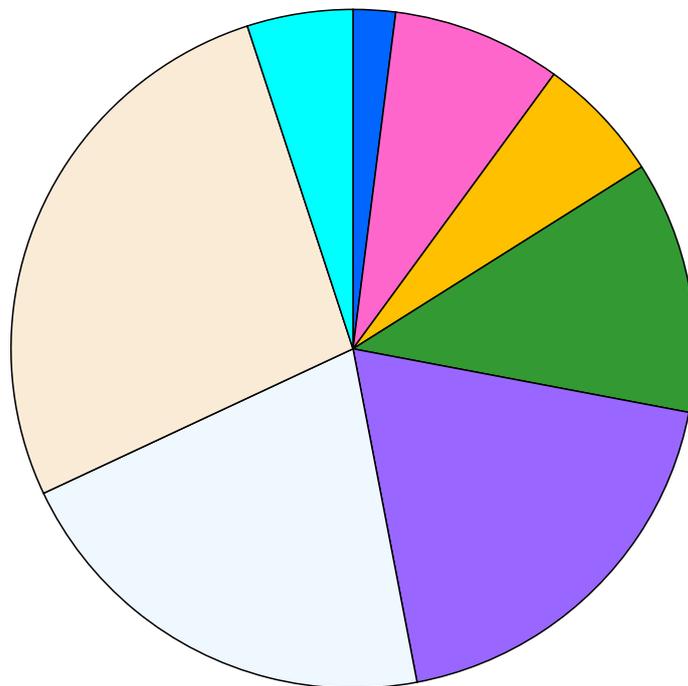
質問9 オンラインプログラムについて、ご都合の良い曜日を教えてください。（複数選択可）

No	解答	人数	%
1	月曜日	10	15%
2	火曜日	6	9%
3	水曜日	21	32%
4	木曜日	11	17%
5	金曜日	10	15%
6	土曜日	5	8%
7	日曜日	2	3%
合計		65	



質問10 オンラインプログラムの開始時間について、ご都合の良い時間帯を教えてください。（複数選択可）

No	解答	人数	%
1	朝（9：00まで）	1	2%
2	午前（9：00～12：00）	4	8%
3	昼休み（12：00～13：00）	3	6%
4	午後（13：00～16：00）	6	12%
5	夕刻（16：00～18：00）	10	19%
6	夜（18：00～19：00）	11	21%
7	夜（19：00～20：00）	14	27%
8	夜（20：00以降）	3	6%
合計		52	



質問11 全体を通してのご感想やご意見、今後の開催に向けての改善点等ございましたら、ぜひお聞かせください。（質問等のDPP機能、事前準備、ライブ配信の画質・音質など）（自由記述）

【自由記述】

- ・最後の大きくはばたくという言葉がよかったです。
シートを活用した講演会もとても意義があるものでした。
- ・とても良かったです
- ・複数回のプログラムで、複数回参加することで、参加者がバージョンアップできるのはよいと思う。
- ・上手に司会がハンドリングされていました。
- ・組織で声を上げる人は授受用だけど、私はその声を聴く人になろうかと思いました。
- ・今回も先生の経験や色んな例を用いたご説明で分かり易く、DPPで一体感があり良かったです。
- ・開催時間ですが、夕食時間にかぶるのがやはり厳しいと思いました。特に在宅時は家族も揃っているのに、家では少し集中しにくかったです。内容はとても良かったですし、ライブ配信の音声・映像もとてもきれいでノンストレスで視聴できました。交流会の流れもスムーズで、回を重ねるごとにレベルアップしていたと感じました。鎌田さんの存在感は絶大でした。鎌田さんありがとうございました。そして運営の皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・講座自体は講師在りきですので特に問題はありません。進行については、確たる進行力がまだ備わっておらず、グダグダ感だけが伝わってきた。もっと自信をもって対応すればもっと良くなるはずです。頑張ってください。
- ・ブレイクアウトルームは5人だったが少し少ないと感じた。6~8人程度が良いと思う。ファシリテーターは、一番若い人とかに事前に依頼しておくといいのでは？
- ・何と言っても、遠く離れた人と同じ時間を共有できるのは、オンラインならではの良さだと思いますが、こういった研修講演などは、みんなと同じ空間でコミュニケーションできた方が、より理解が深まるのではないかと思います。また、開催時間帯も考えて頂けると、より色々な人が参加しやすくなるのではないかと思います。
- ・電波の状況で、何度か画像が止まってしまった。ネット環境で視聴の差が出てしまうのは、仕方がないのかな。
- ・いずれのプログラムにしても、事前配布資料の送付が遅い、この1点につきる
- ・映像や音質は問題なかったと思います。進行も問題無いと思いました。なお、懇親会についてはもう少しテーマを持って行った方が良いのでは？と思います。
- ・今回も気づきがあったので参加してよかった。
- ・ライブ配信も聞きやすかったです。接続前に手間取りました。マイク/スピーカの接続が悪かったのか開始前のBGMが聞こえず慌ててPCを再起動しましたが、数分接続が

遅れました。セミナー開始前の予備時間はPC再起動等をしていても間に合うよう10~15分は頂きたいです。

・DPPの結果画面表示が早く、推移しているのに影響されている感がある。表示のタイミングを工夫すべきではないか

・いつも決まった曜日の遅い時間から始まるが、変更できないか。曜日や開始時間がネットで参加できない人がいるかも知れないです。

・PDFでの回答欄が書き込めるところと書き込めないところがありました。事前に確認をお願いします。

・毎度、鎌田さんに元気をいただいています。
次回がありましたらまた宜しくお願いします。

・DPPは他の意見がリアルタイムに確認できるため全体中自己の現在位置、如何に物事の主流に位置していないかを痛感できるところがあり。良かった。

・行動の基盤になるメンタルを考えるうえで大変為になるお話でした。

・今回は内容が盛り沢山で、鎌田さんもおっしゃっていましたが、少し展開が早く、内容がはいってきませんでした。（自分の頭の回転が遅いだけですが）

・今回はPC画像をスクリーンに映すことなくマウスのポインタで指し示したのでわかりやすかったです。唯一生き残れるのは変化できる組織であるという教訓は合点がいました。

・事前準備のPDFの資料を印刷しなかったため、PC上での記入に時間がかかり、結果を知るのが後になってしまいました。